

# 「仮説実験授業」と科学コミュニケーション

## 2019 年 12 月 2 日（月） 15:00～17:00

ゲスト 舟橋 春彦（京都大学 国際高等教育院 教授）

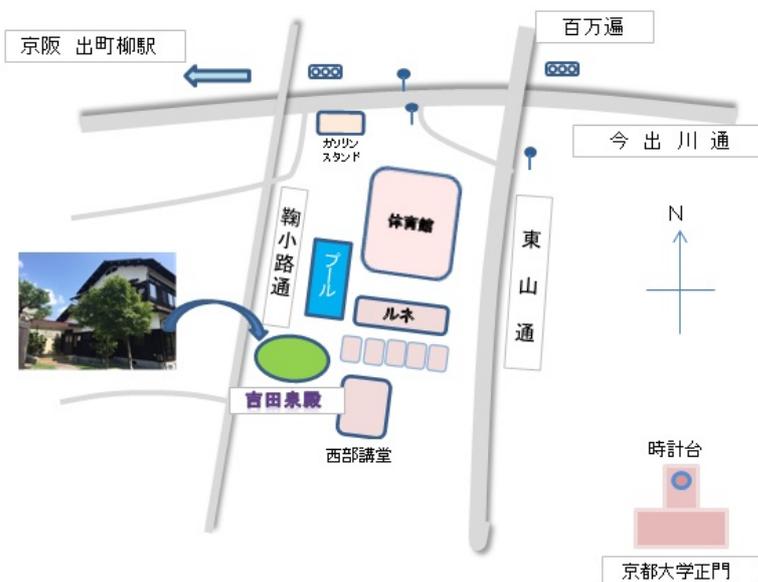
「仮説実験授業」とは、1963 年に教育研究者の板倉聖宣氏が提唱した理科教育法で、子どもたちの自発的な「問い」と「気づき」を引き出す「たのしい授業」の中で科学の知識と感動を伝える授業法です（詳しくは「仮説実験授業研究会」ウェブサイト参照：<https://www.kasetsu.org/>）。今回ゲストにお迎えする舟橋春彦先生は、大学の 1 回生向けの授業にこの方法論を導入し、理系ではない学生に基礎的な物理学の知識を伝える活動を 10 年以上に渡って実践しています。今回の研究会では、舟橋先生に「仮説実験授業」の実践の中で得られた経験や気づき、そして科学コミュニケーションとの関わりについてお話させていただきます。

**会場** 京都大学 吉田泉殿

- \* 京町家風の建物です。
- \* 普通の家のように見えるので、通り過ぎないようにご注意ください。
- \* 入り口に「京都大学吉田泉殿」という看板がかかっています。

**定員** 20 名程度

- \* 定員を超えた場合は、脇見となります。
- \* 当日参加も可能です！
- \* お申し込みをいただいた方には、リマインダーをお送ります。



**持ち物** とくになし

**主催** 科学コミュニケーション研究会 関西支部有志（今回の担当：清水智樹）

- \* この研究会は、京都大学「学問と社会をつなぐコミュニケーション探究ライトユニット」の第 5 回研究会と共同開催いたします。

お申し込みはコチラから → <https://forms.gle/yeVdnLhMA2mLXQSC7>